

(1) 阿南市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の実施状況等について

ア 被保険者数の見込量と実績の比較

被保険者数の見込量と実績を比較すると、令和5年度の第1号被保険者数の合計では、概ね見込みどおりの実績となっていますが、令和6年度以降は見込量を上回りゆるやかな上昇傾向となっています。

【被保険者数】

(単位:人)

区分		令和5年度	対比 (%)	令和6年度	対比 (%)	令和7年度	対比 (%)
第2号被保険者 (40~64歳)	計画	21,492	103.1	21,281	103.4	21,071	104.1
	実績	22,152		22,009		21,941	
第1号被保険者 (65歳以上)	計画	23,423	100.8	22,844	102.4	22,775	102.2
	実績	23,606		23,388		23,282	
前期高齢者 (65~74歳)	計画	10,174	101.1	9,634	100.9	9,237	102.3
	実績	10,289		9,723		9,445	
後期高齢者 (75歳以上)	計画	13,249	100.5	13,212	103.4	13,538	102.2
	実績	13,317		13,665		13,837	

※「介護保険事業状況報告(年報)」より(令和7年度は令和7年11月分月報より)

イ 要介護(要支援)認定者数の見込量と実績の比較

要介護(要支援)認定者数の見込量と実績を比較すると、合計人数での対比では令和5年度から令和7年度見込で概ね計画どおりの実績となっていますが、個別の区分では、令和6、7年度の要支援1、2の実績が増加傾向にあり、令和6、7年度の要介護3、4の実績が減少傾向になっております。

【要介護(要支援)認定者数】

(単位:人)

区分		令和5年度	対比 (%)	令和6年度	対比 (%)	令和7年度	対比 (%)
要支援1	計画	386	102.8	376	122.1	377	119.1
	実績	397		459		449	
要支援2	計画	520	112.7	614	105.7	622	110.6
	実績	586		649		688	
要介護1	計画	969	100.1	982	98.4	990	97.4
	実績	970		966		964	
要介護2	計画	793	93.2	769	99.6	783	99.0
	実績	739		766		775	
要介護3	計画	683	93.1	703	94.0	717	92.3
	実績	636		661		662	
要介護4	計画	666	100.0	696	92.8	714	92.0
	実績	666		646		657	
要介護5	計画	515	87.8	420	100.7	422	102.1
	実績	452		423		431	
合計	計画	4,532	98.1	4,560	100.2	4,625	100.0
	実績	4,446		4,570		4,626	

※「見える化」より

ウ 介護給付費の見込量と実績の比較

介護給付費の計画と実績を比較すると、令和5年度、令和6年度ともに計画を下回っています。また、要支援者数の増加に伴い令和5年度から予防給付費が増加に転じ、令和6年度以降も同様に増加の傾向となっています。

【介護保険事業費】

(単位：千円)

区分		令和5年度	対比 (%)	令和6年度	対比 (%)	令和7年度	対比 (%)
保険給付	計画	8,237,480	94.9%	8,208,025	95.6%	8,341,556	94.5%
	実績	7,813,952		7,846,222		7,883,252	
介護給付	計画	8,048,474	94.7%	8,015,063	95.3%	8,146,511	94.0%
	実績	7,622,567		7,637,198		7,654,046	
予防給付	計画	189,006	101.3%	192,962	108.3%	195,045	117.5%
	実績	191,385		209,024		229,206	
地域支援事業	計画	253,900	93.4%	275,808	85.5%	306,744	78.5%
	実績	237,083		235,850		240,756	
介護予防・日常生活支援総合事業	計画	154,028	86.1%	157,795	78.8%	177,941	74.1%
	実績	132,548		124,356		131,936	
包括的支援事業・任意事業	計画	99,872	104.7%	118,013	94.5%	128,803	84.5%
	実績	104,535		111,494		108,820	
合計	計画	8,491,380	94.8%	8,483,833	95.3%	8,648,300	93.9%
	実績	8,051,035		8,082,072		8,124,008	

※「介護保険事業状況報告(年報)」(令和7年度は令和7年12月審査月分までから推計)

【介護給付費(予防給付も含む)】

(単位:円)

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(1)居宅サービス	2,907,027,195	2,957,805,798	2,968,106,702
訪問介護	405,440,703	381,931,375	376,724,571
訪問入浴介護	15,131,451	17,365,222	14,784,060
訪問看護	167,894,013	161,506,116	155,527,328
訪問リハビリテーション	55,556,299	77,268,832	75,858,168
居宅療養管理指導	61,826,179	65,205,059	63,735,813
通所介護	687,718,073	732,076,826	734,682,065
通所リハビリテーション	434,071,814	413,582,695	424,632,749
短期入所生活介護	386,400,695	415,712,368	432,072,416
短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	25,432,275	19,864,017	17,578,899
短期入所療養介護 (介護療養型医療施設等)	0	0	0
短期入所療養介護 (介護医療院)	0	587,943	53,150
福祉用具貸与	226,413,108	224,231,199	223,177,917
特定福祉用具購入費	9,394,003	9,773,627	9,893,859
住宅改修費	22,003,379	23,456,674	23,336,292
特定施設入居者生活介護	69,056,059	68,507,298	70,445,075
居宅介護支援	340,689,144	346,736,547	345,604,343
(2)地域密着型サービス	1,674,498,618	1,677,448,398	1,706,246,870
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,149,130	0	0
地域密着型通所介護	280,980,359	266,791,528	266,065,934
認知症対応型通所介護	24,340,887	25,602,499	27,721,733
小規模多機能型居宅介護	441,949,239	452,205,738	468,896,799
認知症対応型共同生活介護	640,813,783	651,438,052	645,050,090
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	189,606,557	186,946,522	197,799,506
看護小規模多機能型居宅介護	95,658,663	94,464,059	100,712,810
(3)施設サービス	2,790,429,404	2,767,801,771	2,767,996,544
介護老人福祉施設	1,350,480,600	1,398,229,627	1,387,261,895
介護老人保健施設	1,096,542,891	1,026,254,836	1,073,353,787
介護療養型医療施設	4,114,828	333,170	0
介護医療院	339,291,085	342,984,138	307,380,863
総計	7,371,955,217	7,403,055,967	7,442,350,115

※「介護保険事業状況報告(年報)」より(令和7年度は令和7年12月審査月分までから推計)

第6章 施策の展開

基本目標1 介護予防事業の充実と社会参加の促進による地域づくり

(1) 介護予防事業の充実と健康の保持	①一般介護予防事業
	②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
	③健康増進事業
	④はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業
(2) 社会参加の促進と地域づくり	①高齢者の就業支援
	②セニヤクラブ（老人クラブ）活動の促進
	③生涯学習等の支援
	④災害時ボランティア活動の支援
	⑤高齢者バス乗車券・福祉特定回数乗船券の交付事業
	⑥高齢者タクシー利用料助成事業
	⑦高齢者の多様な交流の場の提供
	⑧長寿者福祉金等支給事業
	⑨敬老祝賀事業

(1) 介護予防事業の充実と健康の保持

① 一般介護予防事業

ア 介護予防把握事業

本市や関係機関が所持する情報の有効活用により閉じこもり等何らかの支援を要する高齢者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげることを目的とした事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
戸別訪問件数	60件	60件	60件
支援等につなげた件数	6件	6件	6件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
戸別訪問件数	130件	183件	97件
支援等につなげた件数	12件	27件	24件

イ 介護予防普及啓発事業

介護予防の基本的な知識を普及啓発するため、パンフレットの配付や講座等を開催する等、地域における自主的な介護予防の活動を支援する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防教室の開催回数	30回	30回	30回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
介護予防教室の開催回数	13回	11回	3回

ウ 地域介護予防活動支援事業

年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資すると判断する住民主体の「通いの場」等の活動を地域の実状に応じて効果的かつ効率的に支援する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
いきいき100歳体操グループ数	75グループ	75グループ	75グループ
あななんサロングループ数	60グループ	60グループ	60グループ
介護支援ボランティアの人数	5人	8人	10人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
いきいき100歳体操グループ数	70グループ	70グループ	65グループ
あななんサロングループ数	56グループ	57グループ	52グループ
介護支援ボランティアの人数	0名	0名	0名

○あななんサロン交流会の実施（圏域単位で実施）

各あななんサロン参加者への意欲向上及び地域への活動紹介による継続に係る支援や情報共有を目的として実施しています。

○いきいき100歳体操交流会（R7.3.5 実施 R8.2.4 実施予定）

いきいき幸齢者表彰（90歳以上の参加者対象）等を実施し、参加意欲向上や他の団体との交流を通じて活動継続に係る支援を実施することを目的として開催しています。

オ 地域リハビリテーション活動支援事業

リハビリテーションに関する知見を有する専門職が高齢者の有する能力を評価し、改善の可能性を助言する等、住民主体の通いの場等の介護予防の取組を総合的に支援する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
いきいき100歳体操グループへの理学療法士の派遣回数	75回	75回	75回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
いきいき100歳体操グループへの理学療法士の派遣回数	68回	62回	48回

② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 保健センター事業

高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）と通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）の2つの手法により高齢者の介護予防に対する支援に取り組む事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ハイリスクアプローチの実施件数	1,300件	1,300件	1,300件
ポピュレーションアプローチの実施件数	16件	16件	16件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
ハイリスクアプローチの実施件数	741件	727件	405件
ポピュレーションアプローチの実施件数	21件	26件	26件

③ 健康増進事業

ア 生活習慣病 保健センター事業

高血圧、糖尿病、高脂血症等が起因する生活習慣病に関する講演会を実施し、生活習慣病の早期発見につながる啓発事業の推進

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
-----	-------	-------	-------

生活習慣病講演会の開催回数	1回	1回	1回
---------------	----	----	----

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
生活習慣病講演会の開催回数	1回	1回	0回

イ 各種検診事業 保健センター事業

健診診查やがん検診などの健康増進事業の充実により、生活習慣病などの早期発見・早期治療を行い、健康の保持・増進を図る事業を実施しています。

④ はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、精神的及び肉体的疲労の回復を促し、心身機能の維持向上を図るため、はり・きゅう・マッサージ費用（医療保険適用外のもの）の一部を助成する事業を実施しています。

(2) 社会参加の促進と地域づくり

① 高齢者の就業支援

高齢者が働くことを通じて生きがいと健康を得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織である阿南市シルバー人材センターと連携し、就業を通じた社会参加の支援を行います。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市シルバー人材センターの会員数	720人	750人	750人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
阿南市シルバー人材センターの会員数	700人	670人	618人

② セニヤクラブ（老人クラブ）活動の促進

地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として活動しているセニヤクラブに対して支援します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市セニヤクラブの会員数	3,000人	3,000人	3,000人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
阿南市セニヤクラブの会員数	3,032人	2,749人	2,421人

③ 生涯学習等の支援

地域の公民館における市民向けの講座の開講や阿南市社会福祉協議会が運営する「徳島県シルバー大学校」事業等、多様な実施主体と連携した学習の機会の創出や情報提供を行っています。

④ 災害時ボランティア活動の支援

阿南市シルバー人材センター及び阿南市社会福祉協議会と連携し、市内において地震・豪雨等により甚大な被害が発生した場合における災害時ボランティア活動について、元気な高齢者がそれぞれの役割において地域貢献できるよう、防災訓練の参加等を推進しています。

⑤ 高齢者福祉特定回数乗車（船）券の交付

70歳以上の高齢者の外出の促進を図るとともに、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できるよう支援するため、市内の路線バスで使用できる無料バスフリー券と伊島地区の住民を対象とした連絡船で利用できる無料船券を交付する事業。

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
バス券利用枚数	33,653枚	33,711枚	22,022枚
伊島船利用枚数	1,109枚	1,216枚	860枚
利用枚数合計	34,762枚	34,927枚	22,882枚

⑥ 高齢者タクシー利用助成（阿南市高齢者いきいきタクシー券）

70歳以上の高齢者の外出の促進を図るとともに、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できるよう支援するため、市内登録事業所で利用できるタクシー券を交付し、タクシー利用料の一部を補助する事業。（所得制限、交通手段を持たない方が対象）

※令和5年6月から開始

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
タクシー券利用枚数	12,050枚	18,273枚	13,326枚

⑦ 高齢者の多様な交流の場の提供

高齢者の心身の健康の増進、閉じこもりの防止、生きがいつくりの支援等を目的に、気軽に参加できる交流の場として次の施設を提供します。

施設名	施設数
阿南市老人いこいの家	15施設
阿南市老人ルーム	10施設
阿南市高齢者交流センター	1施設

⑧ 長寿者福祉金等支給事業

長年にわたり社会の発展に尽力された高齢者を敬愛し、長寿を祝福するとともに、敬老理念の普及と高齢者福祉等への関心を高めるため行う事業を実施しています。

事業名
敬老記念品贈呈（75歳以上の人）
100歳誕生日の慶祝訪問（祝状と祝金）
長寿者福祉金（77歳、88歳、100歳以上の人への慶祝訪問）
最高齢者の慶祝事業

⑨ 敬老祝賀事業

多年にわたり地域社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、高齢者福祉に対する市民の理解を深め、地域連携を促進し、高齢者福祉の向上を図るため、敬老会の開催等を実施する団体に対し、補助を行っています。

基本目標 2 住み慣れた地域で支えあう体制づくり

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの中核である地域包括支援センターを中心に、様々な主体や住民同士が連携し、「地域共生社会」の実現を目指します。また、高齢者の移動支援体制の整備に取り組みます。

○阿南市地域包括支援センター運営協議会の開催状況〔令和6年度〕

開催日	議事
第1回 令和6年7月3日	令和5年度事業報告及び決算報告について 令和6年度事業計画及び収支予算について 地域包括支援センターの事業評価について
第2回 令和6年9月25日	地域包括支援センター（高齢者お世話センター）の運営体制の整備について
第3回 令和7年2月18日	阿南市地域包括支援センターの事業評価（案）について 令和7年度阿南市地域包括支援センター運営基本方針（案）について 地域包括支援センターの運営体制（案）について

〔令和7年度〕

開催日	議事
第1回 令和7年7月23日	令和6年度事業報告及び決算報告について 令和7年度事業計画及び収支予算について 地域包括支援センターの事業評価について
第2回 令和7年11月21日	地域包括支援センター（高齢者お世話センター）の運営の在り方について 介護予防支援事業所の指定について
第3回 令和8年2月下旬 （開催予定）	阿南市地域包括支援センターの事業評価（案）について 令和8年度阿南市地域包括支援センター運営基本方針（案）について

(2) 生活支援サービス・高齢者福祉サービスの充実

① 介護予防・生活支援サービス事業

要支援1・2及び事業対象者（基本チェックリスト該当者）に対して多様な生活支援のニーズに対応することを目的に訪問型・通所型サービスを提供する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市ご近所デイサービス事業の実施グループ数	25グループ	26グループ	26グループ
内、送迎サービス実施グループ数	10グループ	11グループ	12グループ
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の実施地区数	2地区	3地区	3地区
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の運転ボランティア登録数	30人	35人	40人
ご近所ヘルパー事業の新規ヘルパーの人数	3人	3人	3人
ご近所ヘルパー事業の利用者数	10人	15人	15人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
阿南市ご近所デイサービス事業の実施グループ数	26グループ	26グループ	27グループ
内、送迎サービス実施グループ数	9グループ	10グループ	9グループ
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の実施地区数	2地区	2地区	3地区
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の運転ボランティア登録数	29人	32人	44人
ご近所ヘルパー事業の新規ヘルパーの人数	0人	9人	6人
ご近所ヘルパー事業の利用者数	9人	4人	4人

○ご近所デイサービス事業（介護予防・生活支援サービス事業：通所型サービスB）

各地区において住民主体でいきいき100歳体操やいきいき健口体操、レクリエーションなどのデイサービスを実施する事業

【地区別立ち上げ状況】 令和7年11月時点

地区名	グループ名	グループ数	送迎
富岡	いこいご近所デイサービス (R3.9) サルビア会ご近所デイサービス (R3.9) ご近所デイサービスうしき (R4.2) 中村ご近所デイサービス (R5.9)	4	0
中野島	中原たぶのき会ご近所デイサービス (H30.5)	1	0
宝田	さわやかご近所デイサービス (R3.1)	1	0
見能林	見能林ご近所デイサービス (R4.7) 津乃峰ほっこりご近所デイサービス (R4.11)	2	0
橘		0	0
桑野	桑野ほほえみご近所デイサービス (R1.8) ○にこにこハッピーご近所デイサービス (R4.9)	2	1
長生	ご近所デイサービスやほこ (H30.5) 大原コスモスご近所デイサービス (R3.4)	2	0
大野	桶田パンジーご近所デイサービス (R4.3)	1	0
加茂谷	ご近所デイサービス午尾の滝 (R4.1)	1	0
新野	○徳信ご近所デイサービス (H30.6) ○室姫ご近所デイサービス (R3.1)	2	2
福井	○福井たけのこご近所デイサービス (R3.4)	1	1
椿	○椿・椿泊ふれ愛ご近所デイサービス (R3.8)	1	1
那賀川	○ひまわりご近所デイサービス (H30.5) ○はまかぜご近所デイサービス (H30.5) ご近所デイサービスきらら (H30.6)	3	2
羽ノ浦	○春日野ご近所デイサービス (H30.9) ○スマイルご近所デイサービス (H31.4) ご近所デイサービス古庄 (R1.12) むらさきご近所デイサービス (R2.4) ご近所デイサービス若鮎 (R2.11) 那東ご近所デイサービス (R7.4)	6	2
合 計		27	9

※○：送迎サービス実施団体

○阿南市ご近所ドライブパートナー事業（介護予防・生活支援サービス事業：訪問型サービスD）

公共交通空白地域において、身体機能の低下がみられ、通院や買い物等に行くための移動手段がない高齢者を対象に、介護保険事業における介護予防・日常生活支援総合事業の枠組みを活用した住民主体による移送支援サービス

【実績】

団体名	加茂谷元気なまちづくり会		たすけ愛あなん	
事業開始日	令和3年5月17日		令和4年10月1日	
対象地域	令和7年1月より、加茂谷地区全域が対象エリアへ拡大		那賀川町の一部区域（島尻、江野島、小延）	
年 度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
登録ドライバー数	13人	16人	16人	16人
利用者数	12人	22人	10人	10人

② 生活管理指導短期宿泊事業

65歳以上の高齢者で生活習慣が欠如しているひとり暮らし在宅高齢者等に対し、養護老人ホームの空き室を利用して一時的に養護し、原則7日以内の短期宿泊により日常生活に対する指導等を行い、基本的な生活習慣の確立が図られるよう支援する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
生活管理指導短期宿泊事業の利用者数、日数	3人・20日	10人・88日	6人・119日

③ 生きがい活動支援事業

令和7年度から事業廃止（これまでの伊島町会への委託事業を改め、高齢者お世話センターが2ヶ月に1回訪問し、介護予防事業を実施する）

④ 日常生活用具給付事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者（前年度所得税非課税世帯）に対し、安心して在宅生活が継続できるよう3万円を超えない範囲内で現物給付する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R6.12現在)
日常生活用具給付事業	4台 113,520円	4台 113,520円	4台 113,520円

⑤ 高齢者等住宅改造費助成事業

65歳以上の身体の虚弱な高齢者のいる世帯に対し、高齢者の住環境の向上を図り、在宅生活の継続を支援するため、廊下等の手すり設置・浴槽の低床化・トイレの洋式化など高齢者向きに住宅を改造する費用の一部を助成する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
高齢者等住宅改造費助成事業	1名	2名	1名

⑥ 配食サービス事業

おおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯であって食事の調理が困難な人に対し、定期的に居宅を訪問し、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに安否確認を行い、在宅生活の維持向上を支援する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
配食サービス事業の利用人数	18人	23人	21人
配食サービス事業の配食数	591食	631食	405食

⑦ 寝たきり高齢者見舞金支給事業

65歳以上の在宅で生活する高齢者に対し、福祉の増進に寄与することを目的に見舞金を支給する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
寝たきり高齢者見舞金支給事業の申請（決定）者数	35人	40人	32人

⑧ 家族介護用品支給事業

65歳以上の寝たきり又は認知症の状態であって、要介護状態区分が4又は5の人を在宅で介護する世帯に対し、経済的負担の軽減を図るため、家族介護用品（紙おむつ等）の現物支給を行う事業（世帯全員の市民税非課税が条件）

【実績】※年度途中で休止・廃止した人を含む

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
家族介護用品支給事業	30人	26人	26人

(3) 安心・安全の確保

① 小地域見守りネットワークの構築

住民に身近な小地域（概ね民生委員の担当地区ごと）を基盤とする高齢者の見守り体制（小地域見守りネットワーク）を構築し、専門職による援助が必要な場合等は、高齢者お世話センターへ円滑につながる仕組み整備するとともに、地域の中での「声かけ」や「ゆるやかな見守り」等の安否確認が行われる体制を構築しています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
小地域見守りネットワークの構築割合	100%	100%	100%

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
小地域見守りネットワークの構築割合	96%	96%	96%

② 友愛訪問活動の支援

ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消や定期的な見守りを目的に、その居宅を訪問し、世間話や日常生活における悩みごとの相談等を行う友愛訪問活動について、その活動主体であるセニヤクラブに対する支援を行い、活動の活性化を図っています。

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
セニヤクラブ数	79クラブ	74クラブ	67クラブ
友愛訪問員数	155人	141人	107人

(4) 地域の支え合い体制づくり

① 生活支援体制整備事業

市が中心となって、NPO法人やボランティア、社会福祉法人、民生委員等の生活支援サービス等を担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新たな資源・サービスの開発	1件	1件	1件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
新たな資源・サービスの開発	0件	1件	0件

(5) 地域ケア会議の充実

① 地域ケア会議実施状況

阿南市自立支援ケア会議	自立支援・介護予防の観点を踏まえた地域ケア個別会議であり、多職種の助言を得ながら、要支援者等の生活行為の課題を解決することで自立を促し、QOL（生活の質）を向上させることを目的とします。
地域ケア個別会議	個別ケースの検討や課題分析を行い、地域住民や介護支援専門員からの支援困難事例等に関する情報を早期に把握します。（高齢者お世話センター主催）
小地域ケア会議	小地域の会議体において、地域に共通する地域課題の解決に向け検討を行います。
阿南市地域ケア推進会議	個別ケースの検討により把握された地域課題について、生活支援コーディネーターと連携し、その解決に向けた協議を行うことで、地域に不足する資源の開発や地域包括ケアシステムの構築に向けた施策を推進します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自立支援ケア会議	8回	8回	8回
地域ケア推進会議の開催回数 (まんなか会議の開催を含む)	2回	2回	2回
地域ケア個別会議の開催回数	45回	50回	55回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
自立支援ケア会議の開催回数	12回	7回	4回
地域ケア推進会議の開催回数 (まんなか会議の開催を含む)	1回	2回	1回
地域ケア個別会議の開催回数	13回	8回	9回

(6) 権利擁護の推進

① 成年後見制度の普及・利用促進

成年後見制度が必要な者のうち、家族、親族等から支援を得られない高齢者に対し、市長が適切に成年後見制度に係る申立てを行うとともに、その際の申立てに要する費用や後見人等への報酬を助成しています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
徳島家庭裁判所阿南支部における 高齢者（65歳以上）に係る後見 等開始審判の件数	32件	36件	36件

【実績】

区 分	令和5年	令和6年	令和7年
徳島家庭裁判所阿南支部における 高齢者（65歳以上）に係る後見 等開始審判の件数	25件	11件	—

(7) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市在宅医療・介護連携推進会議の開催回数	1回	1回	1回
阿南市在宅医療・介護連携支援センターにおける相談対応件数	50件	50件	50件
阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループの開催回数	3回	3回	3回
多職種連携研修会（ケアカフェ）の参加者数	120人	120人	120人
地域単位での住民向けの講座の参加人数	50人	50人	50人

阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会の開催回数	2回	3回	3回
阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会の開催回数（各部会の開催合計数）	16回	18回	20回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
阿南市在宅医療・介護連携推進会議の開催回数	3回	1回	0回 (3月開催予定)
阿南市在宅医療・介護連携支援センターの相談件数	58件	62件	17件
阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループの開催回数	3回	3回	2回
多職種連携研修会（ケアカフェ）の参加者数	161人	98人	60人
地域単位での住民向けの講座の参加人数	47人	40人	—
阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会の開催回数	2回	2回	2回
阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会の開催回数（各部会の開催合計数）	5回	11回	8回

○令和7年度第1回ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進事業 R7. 8.20 実施）

内容：研修1「身寄りのない方の対応について」

講師 阿南市権利擁護センター所長 大坂 和弘 氏

研修2「グループワーク」

参加者 60名

(8) 高齢者向け住まいの適切な確保

① 養護老人ホーム入所者数（各年度4月1日時点）

施設名	定員数	令和6年度	令和7年度
老人ホーム福寿荘	70人	52人	49人
養護（盲人）老人ホーム羽ノ浦荘	50人	38人	34人

② 高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業

県営住宅春日野団地に整備された高齢者向け住宅30戸に入居している60歳以上の高齢者を対象に、ライフサポートアドバイザー（生活援助員）を派遣し、生活指導・相談・安否の確認、一時的な家事援助等の緊急時の対応を行い、入所者が安心して生きがいのある豊かな生活を送れるように支援する事業です。

【実績】

区 分	令和6年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11現在)
高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	30戸	26戸	26戸

第7章 認知症施策推進計画

我が国の認知症高齢者数は、令和7年に65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。こうした状況の中、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮し続けることができる社会の実現を目指すため、認知症施策を総合的かつ計画的に推進しています。

(1) 認知症に対する正しい知識と理解の普及

① 認知症サポーター等養成事業

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会の実現を目指し、地域住民、企業、学校などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲での手助けをする「認知症サポーター」を養成しています。

② 認知症サポーターのステップアップ講座の開催

認知症サポーターが様々な場面で活躍することに役立つ認知症サポーター上級者育成講座（ステップアップ講）を開催し、認知症カフェやチームオレンジの活動の担い手等地域で活動できる人材を育成しています。

③ キャラバン・メイトの養成講座

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」の企画、立案、講師役を務めることができるキャラバン・メイトを養成しています。

④ 認知症ケアパス

認知症を発症したときから、生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせて、認知症の人やその家族が、「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービスが受けられるか、認知症の様態に応じたサービス提供の流れを地域ごとにまとめた認知症ケアパスを作成し、配布しています。

⑤ 認知症に関する講演会

認知症に関する正しい知識と理解の普及を図るため、市民向け講演会を開催します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①認知症サポーターの養成人数	100人	100人	100人
②認知症サポーターステップアップ講座の受講者数	20人	20人	20人

③認知症サポーターキャラバン・メイトの新規養成人数	3人	5人	5人
⑤認知症に関する講演会	1回	1回	1回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
①認知症サポーターの養成人数	100人	103人	235人
②認知症サポーターステップアップ講座の受講者数	30人	22人	19人
③認知症サポーターキャラバン・メイトの新規養成人数	4人	5人	-
⑤認知症に関する講演会	0回	1回	1回

(2) 認知症への備えと社会参加

① 認知症カフェの実施

認知症カフェとは、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等、誰もが参加でき、カフェのようになりラックスした場所で、認知症について気楽に意見交換ができる場所です。認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる地域社会の実現に向けて、高齢者お世話センターに配置する認知症地域支援推進員が中心となって、各圏域における認知症カフェの実施に向けて取り組んでいます。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症カフェの設置数	5か所	6か所	7か所

※チームオレンジにおける活動を含む

【実績】

区 分	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
認知症カフェの設置数	7か所	8か所

※チームオレンジにおける活動を含む

(3) 医療と介護の連携推進

① 認知症初期集中支援チーム（ファーストケアチーム）の設置

ファーストケアチームは、複数の専門家が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行っています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症初期集中支援チームの相談 対応件数	15件	15件	15件

【実績】

区 分	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
認知症初期集中支援チームの相談 対応件数	実12件 延144件	—

② 認知症初期集中支援チーム検討委員会の設置

認知症初期集中支援チームの設置及び活動状況等について定期的に検討するとともに、認知症初期集中支援事業に関する施策を地域における医療・保健・福祉の関係機関等と一体的に推進できるよう合意形成及び連携強化を図っています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症初期集中支援チームの検討 委員会の開催回数	1回	1回	1回

【実績】

区 分	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
認知症初期集中支援チームの検討 委員会の開催回数	0回	—

(4) 認知症にやさしいまちづくり

① チームオレンジによる活動の推進

「チームオレンジ」はステップアップ講座を受講した認知症サポーターが支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った支援をつなげる仕組みです。「チームオレンジ」の活動に対し補助金を交付する等の支援を行い、活動の普及展開に取り組んでいます。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
チームオレンジの結成状況	3か所	4か所	5か所

【実績】

区 分	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
チームオレンジの結成状況	5か所	3か所

② 徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業

徘徊のおそれのある認知症高齢者等の情報をあらかじめ市及び消防本部に登録しておくことで、行方不明発生時における早期発見と家族等への支援を行います。また、行方不明事案が発生した場合に、「徘徊高齢者 SOS ネットワーク」を設置し、徘徊高齢者等の情報を協力関係機関に電子メールで送信するなど、早期発見・保護を目指します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の新規登録者数	10人	10人	10人
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の協力事業者数	52事業者	54事業者	56事業者

【実績】

区 分	令和6年度	令和7年度 (R7.11 現在)
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の新規登録者数	15人	14人
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の協力事業者数	51事業者等	51事業者等

基本目標 3 安定的な介護保険制度の運営

利用者がサービスを安心して利用できるよう、事業者への適切な支援・助言及び指導・監査を実施することにより、利用者に必要なサービスを提供し、サービスの質の向上と業務の効率化に向けた取組を推進しています。

(1) 介護保険サービスの質の向上	①利用者の苦情、相談への対応
	②福祉サービス評価事業(第三者評価)の推進
	③介護保険事業者に対する指導・監査
	④サービス情報の提供
(2) 福祉・介護人材の確保・定着・育成及び業務効率化	①介護人材の確保・定着・育成
	②業務効率化の取組
(3) 介護保険事業の適正な運営	①要介護認定の適正化
	②ケアプラン点検
	③縦覧点検・医療情報との突合
(4) 感染症対策	①感染症の予防と感染拡大防止対策
	②サービス提供に関する対策

(1) 介護保険サービスの質の向上

① 利用者への苦情、相談への対応

介護保険サービスに関する利用者からの苦情及び相談に対し、市と関係機関が連携して相談を受け付け、対応しています。

② 福祉サービス評価事業(第三者評価)の推進

市が指定権者である地域密着型サービス事業者等に対しては、運営推進会議を設置し、適正な運営を行っているか審議及び情報共有を図っています。

③ 介護保険事業者に対する指導・監査

市が指定権者である地域密着型サービス事業者等に対し、実地による指導や集団指導を実施し、サービスの質の向上に努めている。

【実績】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実地指導	31事業所	11事業所	13事業所(+5予定)
集団指導	1回	1回	1回

④ サービス情報の提供

パンフレットを作成し、介護保険制度や介護保険に関する手続きの流れ、各種サービス、サービス事業者、保険料等の情報を提供に努めています。

(2) 福祉・介護人材の確保・定着・育成及び業務効率化

① 介護人材の確保・定着・育成

市が実施している「介護予防・生活支援サービス事業」のうち、「阿南市訪問型生活応援サービス」及び「阿南市はつらつデイサービス」については、人員等の基準を緩和し、市の実施する一定の研修修了者が、サービスに従事することを可能としており、1年に1回程度研修会を開催し、介護に従事する職員の人材確保に努めています。

【実績】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
研修開催日	令和6年3月4日	令和7年3月11日	令和8年3月(予定)
研修受講者数	3人	3人	—

介護の仕事・就職フェアの実施

10月30日(木)に、市役所本庁舎1階多目的スペースにてハローワーク阿南及び徳島県社会福祉協議会と連携し「介護の仕事・就職フェア」を開催しました。当日は約40人の参加があり、参加法人14団体及び徳島県福祉人材センター「アイネット」によるプレゼンテーション実施後、求職者がより多くの事業所の話聞けるような形を工夫し、3～4人のグループ単位で各事業所の説明を3回にわたり行いました。さらに個別相談の機会も設け、求職者との交流を深めることができました。

また、今年度はフェアのみで終了するのではなく、フェア終了後にハローワーク阿南の主催による介護事業所11か所を巡るジョブガイドツアー(施設見学会)の参加募集を実施し、事業所訪問を通じて求職者が介護の仕事への理解がさらに深められるよう工夫を行いました。

② 業務効率化の取組

介護サービス事業者の事務に係る負担軽減のため、申請様式・添付書類や手続きに関する簡素化、様式等の活用による標準化を推進し、業務の効率化を図っています。

(3) 介護保険事業の適正な運営

① 要介護認定の適正化

認定調査員又は認定審査会の合議体間のバラツキを是正し、要介護認定の公平・公正な審査判定に努めました。

また訪問調査に対する事後点検を全件実施し、整合性の確認を行いました。

【実績】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査員研修	県主催の新規及び現任研修を受講(年1回)	県主催の新規及び現任研修を受講(年1回)	県主催の新規及び現任研修を受講(年1回)
審査会委員研修	県主催の新規及び現任研修を受講(年1回)	県主催の新規及び現任研修を受講(年1回) 市主催の研修を実施(年1回)	県主催の新規及び現任研修を受講(年1回) 市主催の研修を実施(年1回)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
訪問調査に対する事後点検実施件数	4,591件	3,211件	3,079件 (R7.12.31時点)

② ケアプラン点検の実施

要介護者等の自立支援・重度化防止に向けた「介護支援専門員の自立に資するケアマネジメント」の実施を目的としてケアプラン点検を実施しました。

【実績】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ケアプラン点検実施件数	39件	73件	74件

③ 縦覧点検及び医療情報との突合

医療情報との突合・縦覧点検については、国民健康保険団体連合会に委託して実施しています。

(4) 感染症対策

① 感染症の予防と感染拡大防止対策

必要な感染症予防及び感染拡大防止対策を講じるよう事業所等に情報提供及び指導に努めています。

② サービス提供に関する対策

利用者が安心してサービスを利用できるよう国・県からの情報を提供するとともに市においても感染拡大防止に関する指導に努めています。